

改善箇所説明図

基準不適合発生不箇所（赤丸囲み部分）

燃料タンク底面、燃料ポンプおよび燃料残量センサー取り付け部。



基準不適合発生箇所

燃料タンクにおいて、金型の冷却時間が不適切なため、樹脂製燃料タンク底面の厚さが均一になっていないものがある。そのため、熱により燃料タンク底面に歪みが生じ、そのままの状態で使用を続けると、燃料ポンプ及び燃料残量センサー取り付け部のシール機能が低下して、最悪の場合、燃料が漏れるおそれがある。

改善の内容

全車両、燃料タンクを対策品に交換し、メーター内の燃料残量警告灯表示プログラムを対策プログラムに書き換える。

識別：改善実施済車には、車台番号近傍に外-3070 のステッカーを貼付する。

注： は交換部品を示す。